

## 第4節 STOP!地球温暖化

18世紀の後半から、産業の発展に伴い、石炭や石油などの化石燃料を大量消費する時代となり、大量のCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）が排出されるようになりました。この結果、大気中に含まれる二酸化炭素などの温室効果ガスの量が増えるようになり、地球全体の平均気温が上昇してきています。

現在のペースで温暖化が進むと、2100年には地球の平均気温が1.4～5.8℃上昇すると予測され、地球上における自然生態系や人間社会に悪影響を及ぼす恐れがでてきました。

本市においては、市民や事業者と連携して、高効率給湯器の導入支援事業や「エコアクション21」への取り組みを行い、温暖化対策を講じていきます。

### 地球温暖化によるさまざまな影響

#### 異常気象

異常気象により、洪水・渇水・干ばつが増加します。

#### 海面上昇

最大で88cmの海面上昇が予想されています。

#### 生態系の変化

動植物の絶滅など生態系全体のバランスが崩れます。

#### 健康被害

マラリアなどの熱帯性の病気の被害が広がります。

#### 食糧危機

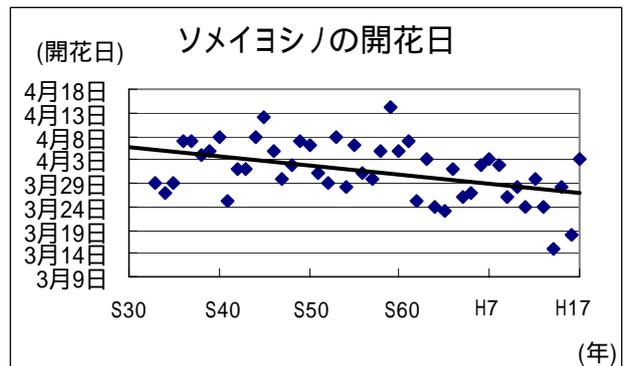
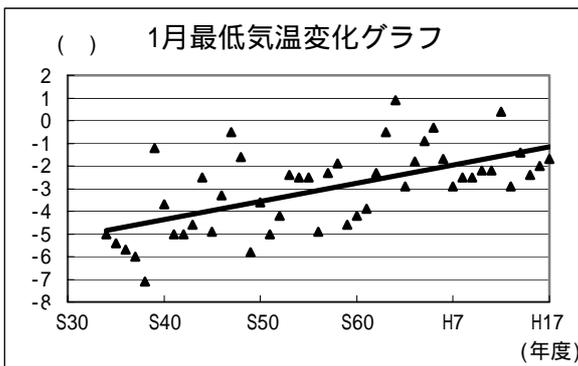
穀物などの生産量の低下を招き食糧難になります。

## 1. 八王子における温暖化現象

### (1) 最低気温と桜の開花状況

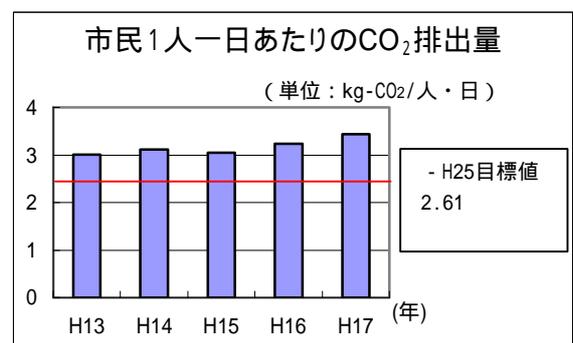
地球規模での地球温暖化の影響と思われる現象は、私たちの身近にも現れています。

年々、最低気温が上昇し、桜の開花時期も早まってきていました。17年度については、この時期寒さがぶり返したため、桜の開花が平年より2日遅くなりました。



### (2) 市民生活に係わる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量

八王子市民1人が1日に電気及び都市ガスを使用することによって排出するCO<sub>2</sub>は、年々増加傾向にあります。地球温暖化を防止するためには、省エネルギー対策に市民・事業者が自ら取り組む必要があります。



## 2. 地球温暖化対策の具体的な取り組み

### (1) 公共施設への対応

市では、省エネ対策の一環として夏冬の空調設定温度の徹底や昼休み時の節電などに努めているほか、七国小学校、同中学校における太陽光発電パネルの設置、東浅川保健福祉センターでのコ・ジェネレーションシステム（注）の導入を行っています。また、本庁舎ではソーラーシステムの活用、雨水の中水利用にも努めています。

戸吹清掃工場では、ごみ焼却時の余熱を利用した発電で場内の電気として使用するほか、ボイラーによる蒸気を冷暖房・給湯、戸吹不燃物処理センターへの蒸気・温水の供給、戸吹湯ったり館への蒸気供給を行っています。また、北野清掃工場でも、余熱を場内の冷暖房・給湯に利用しているほか、北野あったかホールへ熱を供給しています。

16年度に実施したごみの有料化により清掃工場から発生する二酸化炭素発生量は16年度に比べ約17%（14,000トン）削減することができました。

また、清掃車両の新車購入の際には、低公害化を図るために、LPG（液化石油ガス）車を導入するとともに、より環境にやさしいCNG（圧縮天然ガス）車を購入しました。更に環境パトロール用軽自動車にCNG車を購入しました。今後も、更に低公害化を推進していきます。



環境パトロール車（天然ガス車）



北野あったかホール

### (2) 高効率給湯器導入支援事業

本事業は、独立行政法人新エネルギー産業技術総合開発機構（NEDO）の補助事業として実施されたものです。供給事業者主導型総合潜熱回収型ガス給湯器の購入補助を東京ガス㈱との連携により行い、補助対象者の省エネルギー意識の高揚を図りました。この補助事業には、232台の申し込みがあり、そのうち220台の補助を行いました。今後は、本事業で得られた省エネルギー成果を広く市民に広報し、地域での幅広い省エネ意識の啓発を図っていきます。

（注）コ・ジェネレーションシステムとは、ひとつのエネルギーから複数のエネルギーを取り出すシステムのことです。

### (3) 市民・事業者への啓発

#### ア. 省エネ国事業と「省エネ型家電拡大キャンペーン」の展開

各家庭で地球温暖化防止のためにエネルギーを効率よく使う生活を実践するのが『はちおうじ省エネ国』です。

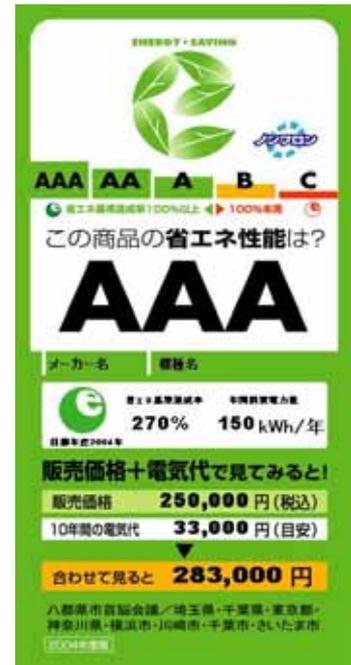
省エネ国は、家庭を一つの国として、資源（エネルギー）を無駄にせず有効に使う「環境にやさしい生活」を実践していくことを目標にしています。

こうして、エネルギー消費量を削減することは、地球温暖化の原因であるCO<sub>2</sub>の削減につながり、家計の負担も軽くなります。

また、消費者の省エネ意識を高め、省エネ型家電製品を省エネラベル表示で選択を促すことで、省エネ製品の普及拡大を目指す「省エネ型家電拡大キャンペーン」を展開しています。

ラベルには、家電製品の省エネ性能を5段階で評価したものと、省エネ基準達成率、年間消費電力量、又10年間の目安となる電気代と販売価格の合計額などが表示されています。

首都圏八都府市が行った夏と冬の『省エネ型家電拡大キャンペーン』において、市は積極的に参加し、啓発活動を行いました。



未来が選べる省エネラベル

#### イ. 省エネセミナー、市民環境講座の開催



省エネセミナー  
省エネアイデア意見交換風景



市民環境講座

家庭での省エネ行動の実践をめざす「はちおうじ省エネ国」に参加登録している家庭を対象に、省エネ行動の意義や具体的な対策方法などの知識を高めるため、「省エネセミナー」を開催しました。それと同時に、日ごろの省エネアイデアについて意見交換する機会を提供し、お互いに情報交換することにより、やる気を高め、地域への省エネ行動の実践の普及につなげました。

また、地球温暖化対策のひとつとして、新エネルギーへの転換や環境に負荷をかけないエネルギー社会の創出に向けて、ライフスタイルや普段の生活での省エネ行動について考える「市民環境講座」を実施しました。この講座には、講師に大学の教授や、環境市民会議の方を招き、80名の方に参加頂きました。

ウ．環境マネジメントシステム「エコアクション21」への取り組み

エコアクション21とは、国際標準機構のISO14001規格をベースとしつつ、中小事業者でも環境への取り組みを効果的・効率的に行うことができる環境省が策定した環境経営システムです。

事業者の二酸化炭素、廃棄物、水使用量の削減を取り組み必須事項としており、省エネ、リサイクルなどを通じて、光熱水費、廃棄物処理費、原材料費等のコスト削減が図られるとともに、環境への取り組みが評価されるというメリットがあります。

エコアクション21とISO14001の比較

○：メリット ×：デメリット

	エコアクション21	ISO14001
社内システム (文書、体制等)	簡易なシステムを要求	× 重いシステムを要求
環境	環境負荷削減が直接の要求事項である	× 環境負荷削減は直接の要求事項ではない
	負荷・対策チェックリストあり	× リスト等なし
経済	商取引に有利	商取引に有利
	× 国際取引に通用しない	国際取引に通用
	光熱水費などの削減大	× 光熱水費などの策減小 (負荷削減は要求しないため)
	業務効率化による経費削減 審査、認証登録料安価	業務効率化による経費削減 × 審査、認証登録料高価
社会	環境活動レポートの作成・公表	× 環境報告書なし
	× 認知度低	認知度高



二酸化炭素排出削減などに取り組む市内事業者の増加を目指すため、エコアクション21認証取得の取り組みを支援する「八王子市イニシャティブプログラム」を実施しました。このプログラムに参加することで、具体的取り組み内容の把握ができ、効果的かつ効率的に環境経営に取り組みます。17年度は、24事業者が参加し、18年度の認証・登録を目指しています。

多くの市内事業者が一斉にエコアクション21に取り組むことで、地域全体の二酸化炭素CO<sub>2</sub>等の排出削減を図り、環境経営の視点を持つ市内事業者とともに、環境自治体づくりを行っていきます。

